

COMVO

2023

7

月号

vol. 278

Communication & Volunteer

特集

福祉のカタチ

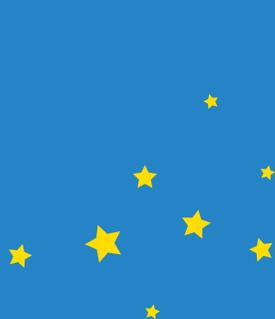
いのち、そして地域をつなぐ 学びの場での取組み

いのちの^ああべの

- ⑤ みんなで楽しく笑いながら
いきいき元気に、健康づくり

しょうかい
大阪ラフター笑会

- ⑦⑧ 認知症の人やその家族を
地域ぐるみで見守り、支える
～ちーむオレンジサポーターの仕組みづくり～





『いのちの@あべの』メンバーの皆さん



福祉のカタチ

いのち、そして地域をつなぐ 学びの場での取り組み

いのちの@あべの

「福祉」という言葉の意味を調べると、多くの辞書では「幸福」や「幸せ」と表現されています。でも、「実際にはどういうことなのか、漠然としていて分からない」と感じている人や、行政の福祉サービスに関連することと理解している人も多いのではないのでしょうか。

今年度の『COMVO』では、地域などで多様な課題に取り組む団体にスポットを当て、それぞれの活動や想いを通じて『福祉のカタチ』を「見える化」し、皆さんとともに福祉について理解を深めていきたいと思います。

今号では、阿倍野区各地域の小学校を中心に、『いのちのふれ合い授業』を行っているボランティア団体『いのちの@あべの』を取材。こどもたちに『いのちの尊さ・家族のつながり・人とのつながりの大切さ』を伝え、共に考えながら、誰もがやさしく見守り合える地域づくりをめざす姿をお伝えします。

※こどもたちのプライバシーに配慮し、写真に一部修正を加えています。

いのちの大切さを 感じ取りながら学ぶ

『いのちのふれ合い授業』は主に小学^{※1}校2年生を対象に、生活科での単元を使って実施されています。

授業で最初に行うのは『いのちのおはなし』。いのちの始まりから誕生まで、パワーポイントやタペストリー、超音波エコーの映像などを使って、おなかの中の赤ちゃんの成長を分かりやすく伝えま



針の穴の大きさほどの、いのちのはじまりにびっくり!



赤ちゃんの小ささ、温かさにふれ、いのちの大切さを学びます

「黒い紙に針で穴を開けたものを配り、いのちのはじまり(受精卵)の大きさを感じてもらいます。すると、ごもたちからは「ちっちゃーい!!」と驚きの声が上がります。

いのちが生まれる奇跡についても、イメージしてもらいやすいように「金色に塗った一粒の砂を運動場に投げたら、その砂を見つめることはできるかな?見つけられたらすごいよね!それくらい難しく奇跡的な出会いをして、いのちが始まるんだよ」と話します。また、赤ちゃんは自分で生まれてくる時を決め、生きる力を使って母体にサインを送り、お母

さんと力を合わせて生まれてくることを伝えます。」

そう話すのは、3人のごどもの育児を経験してきた、メンバーの堀慶子さん。

2年生はまだ幼く柔軟性があり、授業での話を自分のことのように受け止めてくれるのだとも教えてくれました。授業後半はいくつかのグループに分かれ、ボランティアで参加してくれた妊婦さんや赤ちゃん親子との『ふれあいタイム』を楽しみます。

妊婦さんのお腹にさわったり、赤ちゃんを抱っこしたり。赤ちゃんのママには、ごもたちからの質問に答え、みんなも大切に育てられたことを伝えてもらいます。中には母子手帳やおむつ交換の様子、離乳食での食事をごもたちに見せてくれたり、ロープをへその緒に例えてお腹の中でのつながりを説明してくれる人もいます。

「家に帰ってから、授業で体験したことを家族に話してくれる子も多いみたいです。また、事後学習としてごもたちが書いた感想文に「自分のいのちって大切なんだ」と書いてあったりすると、この活動を受け止めてくれたんだなあとうれしくなります」と、メンバーの佐々木文子さんも顔をほころばせます。

※1 学校からの希望により、小学校高学年や中学校で行う場合もあります

大人たちにできること しなければいけないこと を地域の力で

『いのちのふれ合い授業』は2007年、阿倍野区子育て支援連絡会の中で発足した『いのちのプロジェクト☆あべ』をきっかけに始まりました。

「当時は世代に関係なく、自殺や虐待、いじめなどで、いのちや自分の存在の大切さががしろにされている社会問題がありました。連絡会の中で、誰もが自己肯定感を高めていくことができたいね」という話になり、ごもたちを中心に捉えて『いのち』について伝えていこうとメンバーが集まりました。



左から 佐々木文子さん、堀慶子さん、伊藤雅子さん、三栖佳子さん

学校やさまざまな人の協力を得ながら活動することで、地域全体で上手くつながっていくという願いもありました。」そう話すのは、助産師で発足当時からメンバーの伊藤雅子さん(以下、伊藤さん)です。

いの中の大切さをどんな風に伝えていくか?他区での授業モデルなども参考に話し合いを重ね、試行錯誤を繰り返す中で生まれたのが、「いのち」の誕生についての話を伝えながら、妊婦さんや赤ちゃん親子とのふれ合いも取り入れた現在の授業スタイルです。

「参加者とふれ合うことで、ごもた方に、自分も守られ、支えられながら生きていくことを感じてもらいたいと思います。また元氣盛りのごもた方は、周囲が見えずに公園や道路を走ったりするので、ママたちの中には「小学生うちよつと怖い」と感じている人もいました。そんな人たちにもごもたたちの様子や、やさしい姿を見てもらいたかった



中学校の授業でも、『ふれあいタイム』は大人気

んです」と、伊藤さん。

現在、『いのちのあべの』のメンバーは約18人。そのほとんどが子育て中の母親で、妊婦時代や出産後に授業に参加し、その後メンバーとなって活動している人も多くいます。

妊婦さんや赤ちゃん親子についても、授業に参加した人がママ友に声をかけてくれたり、授業を実施する小学校から紹介があったりと、地域の中でのつながりが広がっていききました。

※2003年子育て支援ボランティアグループ・団体を中心に、区役所や社会福祉協議会なども参加して発足。阿倍野区の子育て支援の充実、推進を図るため、官民協働での情報交換を行っている。

ごもたちとともに成長し、見守り合える地域をめざして

『いのちのあべの』では、『コロナ禍での安全面への配慮から、昨年度まで妊婦さんや赤ちゃん親子の授業参加は見合わせていました。

代わりにメンバーが妊婦姿に扮しておなかの中に赤ちゃんがいる喜びや、妊婦さんの困りごとなどを紹介する寸劇、妊婦さんや赤ちゃんのママのインタビュー動画を観てもらったりする方法で、『コロナ禍であっても区内のほとんどの小学校で授業を実施。昨年度までの15年

間で、のべ110回近くもの授業が行われました。

「授業に参加してくれた赤ちゃんが成長して地域の小学校に入学することも増え、この活動が次の世代へつなげていくことを感じています。そして今後さらに、地域での連携が強まってほしいなと思っています。

例えば災害に遭った時、小さなごもも連れの家族は「泣き声がうるさい」と言われることがあり、避難所へ行きにくいという話をよく聞きます。そういう時に地域力があれば、みんながお互いさまだからと見守り合えるのではないでしょつか」と、伊藤さん。

「今は今年度の方向を検討中で、ようやく『コロナの影響が落ちついてきたので、学校側の意見も伺いながら進めていく』かと思っています。ママや妊婦さんからも「協力をしたい」と声をかけていた



コロナ禍は、メンバーが妊婦さんに扮して授業を継続



お腹の中から大切にされてきた、いのちを感じて

だいでいるので、状況をみながら、慎重に検討していきたいと思っています。

ごもたち、参加してくれたママたちとのつながりが、地域づくりをどんどん変えていくくれたらうれしいし、今はそんな種まきの時期だと思っています。」伊藤さんとともに発足当時から活動を続けてきた三栖佳子さんも笑顔でそう話します。

『いのちのふれ合い授業』を受けたごもたちが、多くの人に見守られながら大人になり、親となった時。地域には今以上に温かく、誰もが見守り合い、支え合う生活文化が育っているのびはなごでしよつか。

いのちのあべの

Eメール inochinowaabeno@gmail.com
<https://inochinowaabeno.jimdofree.com/>

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア・市民活動行事保険

補償概要	この保険は、日本国内において「社会福祉協議会」や「ボランティアグループやNPO法人などの市民活動団体」、「社会福祉協議会の会員団体」が主催者となる行事活動中の、ボランティアスタッフや参加者のケガおよび主催者が賠償責任を負った場合に補償するものです。						
加入資格	行事の主催団体で、大阪市の社会福祉協議会、大阪市の社会福祉協議会の会員団体および大阪市の社会福祉協議会で把握または登録されたボランティア・市民活動団体に限ります。						
対象行事	加入資格を満たしたボランティア・市民活動団体が主催する行事を対象とします。 ①社会福祉協議会やその会員、登録団体が共催・後援する行政が主催する行事を含みます。 ②団体の自助活動(懇親会等)も対象となります。 ※学校管理下の活動(クラブ活動、課外活動)や一般の営利団体が実施する行事は対象になりません。 ※加入者の本業は加入対象外です。						
保険期間	行事期間中(開催日の前日までに手続きが完了していること)						
保険料	行事参加者の傷害危険補償特約付普通傷害保険(宿泊を伴わない1日行事)						
(Ⅰ型)	最少加入人数・・・20名以上		名簿・・・備え付けが必要(申込時提出で往復途上も対象)				
	行事区分	A		B		C	
	保険料	1名につき30円		1名につき134円		1名につき262円	
(Ⅱ型)	国内旅行傷害保険(宿泊を伴う行事) 最少加入人数・・・1名以上 名簿・・・申込時提出						
	宿泊日数	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
	保険料	229円	281円	289円	342円	350円	358円
(Ⅲ型)	施設入場者の傷害危険補償(宿泊を伴わないかつ参加者が事前に確定できない1日行事) 最少加入人数・・・20名以上 名簿・・・不要 ●Ⅰ型の行事区分表「A」でかつ、屋内(施設内)・屋外とも、開催場所の境界が明確に区分できる会場(公園、グラウンド等)で開催する行事および入口で入場者数が把握できる行事に限ります。						
	保険料	1名につき30円					

★詳細はパンフレットをご確認ください。

★その他、ボランティア活動保険、非営利・有償活動団体保険、移動中事故傷害保険があります。

●取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社 島本保険事務所
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階
TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686



ボランティア保険H.P

みんな楽しく笑いながら いきいき元気に、健康づくり

大阪ラフター笑会しやうかい



笑いと呼吸を組み合わせた
笑いヨガで免疫力アップ!

月に2回、淀川区にあるマンシヨンの集会所には、シラたちの元気な笑い声が響きます。そこで行われているのは、『大阪ラフター笑会』による笑いヨガ教室です。

『笑いヨガ(ラフターヨガ)』は、笑いとヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操。1995年にインドの医師、マダン・



大きく腕を伸ばして、声を出して「ハッハッハ」



1時間の笑いヨガの後は、気持ちまで明るくすっきり

カタリア氏によって考案され、現在100ヶ国以上で実践されています。「ハッハッハ」と笑った後に、ヨガの呼吸法でストレッチ。酸素をたっぷり体に取り入れて自律神経を整え、免疫力を高めます。

この日の参加者はメンバーも含めて約10人。輪になって椅子に座り、まずは手拍子でリズムを取りながら「ハッハッハ」と笑います。そしてゆっくり深呼吸を行うと、身体がじんわりと温まってきました。「作り笑いでもいいんです。声を出し

て笑うことが大事ですよ。」

そう参加者に呼びかけるのは、『大阪ラフター笑会』の代表で、大阪市生涯学習インストラクターの岩倉あや子さん(以下、岩倉さん)です。

みんなで自己紹介や手話体操をして「ハッハッハ」。エクササイズをして「ハッハッハ」。1時間の笑いヨガ教室は、あっという間に時間が過ぎていきました。

リアルに交流できる活動を
3年以上ぶりに再スタート!

医療分野で働いていた岩倉さんが退職し、ボランティアで笑いヨガの活動を始めたのは2014年のこと。「依頼を断らない」ことをモットーに、大阪・京都・神戸など各地の病院や高齢者福祉施設に向いてきました。

ところが新型コロナウイルス感染拡大により活動がストップ。3年以上もの間、SNSのビデオ通話を使つての活動だけが続きました。

「昨年の6月から、ようやくこの場所で笑いヨガを再開することができまし



大阪ラフター笑会の岩倉あや子さん(中央)と、メンバーの皆さん

た。参加者は、夫婦だけや独りで暮らしている人が多く、笑いヨガで笑ったり、おしゃべりができるリアルな場は本当に大切だと感じています。

新型コロナウイルスがら類に引き下げられたこともあり、これまで活動していた場所にもお声かけをして、ご縁をつなぎ直していきたいです」と、岩倉さん。体操ボランティアの人と緒に新たなプログラムも計画中だと目を輝かせながら話します。

不安だったコロナ禍から、人との交流豊かな日常生活へ。いろんな場所で楽しい笑い声が響く日がようやく戻ってきました。

大阪ラフター笑会

Eメール iwaku1950aya@icloud.com

※令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金
活動支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組み活動の継続的な実施を目的とした事業の支援

女性に寄り添い、乳がんの早期発見を啓発

一般社団法人 ブレストフォト協会

『一般社団法人 ブレストフォト協会』は、乳がん患者の心のサポートに加え、乳がん早期発見の啓発活動に取り組んでいる団体です。

「生涯で乳がんになり患する日本女性は9人に1人と言われています。さらに年々増加していて、早期発見につながる自己触診はとても大切なことなんです」と、代表理事の石原明代さん(以下、石原さん)。

とはいえ、乳がんが得意やすい部位や、しこりがどんな触感なのかを理解している人は多くありません。そこで取



地域のお祭りでも好評の「乳がん触診モデル体験会」

り組んでいるのが、地域イベントなどでの『乳がん触診モデル体験会』です。

乳がん触診モデルとは、しこりのある乳房を再現したものです。体験会では、知識豊富なアドバイザーから乳がんについて学びながら、モデルでしこりに触れた時の感覚を身につけることができます。また希望があれば、市内のサークルなどへ無料で体験会にも出かけています。

「体験会に来て、病院で検査してみよう」と決心してくれる人も多いんですよ。女性は家族のことなどを優先して、自分のことを後回しにしてしまいがち。

まずは自分を大切に、ここから歩を踏み出してもらえれば」と、石原さん。

すべての女性に寄り添いながら、石原さんたちの活動は続いています。

一般社団法人 ブレストフォト協会

TEL:06-6882-3867 FAX:06-6882-3865

Eメール info@breast-photo.com

https://breast-photo.com

情報マーケット P9④にイベント情報を掲載

おいですよ! 地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

自由に自分を表現できる場所

「ART+CALUTAT(アトリエカルタ)」(東住吉区)

壁に飾られている作品の数に圧倒されながらアトリエの中に足を踏み入れると、「かわいいのできたよー!」とこどもたちの元気な声が聞こえてきました。今日は、母の日のプレゼントとして、ドライフラワーとセットにしたフォトフレームを制作中。フレームの中には、自分が描いたお母さんの絵を挟みます。

作品を作っていると自然とこどもたちの間で教えあいが始まり、



それぞれの想いを込めて作品を作ります

「大きくなった子が下の子を教えることも大切になっています。アウトプットすることで自分の力になる。」こども活動を通して、生きる力、人間力をつけてもらいたいと思っています」と、代表の南エリさん(以下、南さん)。「アトリエCALUTAT」は、南さんの自宅のリビングでアート教室としてスタート。□コミが広がり、現在の長屋での活動に移りました。南さんの夢は「伝承する場所を作る」と。例えば、編み物が得意な地域のおばあちゃんにこどもたちを教えてもらうなど、地域のつながりを作りたいんです」と笑顔で話してくれました。

アトリエCALUTAT

Eメール calutat@hotmail.com

https://calutat.storeinfo.jp/



「ちーむオレンジサポーター」と「オレンジサポーター」

「ちーむオレンジサポーター」は、認知症の人やその家族を中心に、地域の人や支援者、企業メンバーなどが「オレンジサポーター」となって、共に支える取組みを行うチームです。

認知症サポーター養成講座を受講後、認知症に関するより深い知識や、認知症の人への対応について学ぶ「ステップアップ研修」を受講することで、「オレンジサポーター」になることができます。



「ちーむオレンジサポーター」の立ち上げや登録、ステップアップ研修の受講などについては、お住まいの区の認知症地域支援コーディネーターにお問い合わせください。

地 域	お問い合わせ電話番号 (認知症地域支援コーディネーター)
北 区	(06)4977-6444
都 島 区	(06)6926-3803
福 島 区	(06)6454-6334
此 花 区	(06)6462-1087
中 央 区	(06)6948-6639
西 区	(06)6539-8248
港 区	(06)6536-8198
大 正 区	(06)6552-4954
天 王 寺 区	(06)6774-3350
浪 速 区	(06)6636-6071
西 淀 川 区	(06)6476-3550
淀 川 区	(06)6391-3770

地 域	お問い合わせ電話番号 (認知症地域支援コーディネーター)
東 淀 川 区	(06)7730-0002
東 成 区	(06)6747-9811
生 野 区	(06)6712-3103
旭 区	(06)6953-0155
城 東 区	(06)6936-1101
鶴 見 区	(06)6913-7512
阿 倍 野 区	(06)6628-1300
住 之 江 区	(06)6569-6100
住 吉 区	(06)6607-8181
東 住 吉 区	(06)6760-7578
平 野 区	(06)6790-0766
西 成 区	(06)6651-6888

認知症の人を中心に、地域ぐるみで充実した日常をめざして ほっとオレンジ(淀川区)

『ほっとオレンジ』は、ドラッグストアのフリースペースを活動拠点として、オレンジサポーター、認知症の人、認知症の人を介護している家族で構成され、淀川区オレンジチームや生活支援コーディネーターがサポートしています。

市営住宅の建て替え等が増え、なかなか上手くコミュニティが構築できないからこそ、一度つながった認知症の人との関係を大事にしており、月に1回、さまざまなこと(勉強会・家族介護教室・ものづくり講座、外出イベント等)に取り組んでいます。

最近では、メンバーみんなでお花見を企画し、認知症の人とオレンジサポーターを中心に、何度も入念に打合せを行いました。そして当日には、認知症の人にもオレンジサポーターの手助けで場所取りなどの役割を担ってもらい、満開の桜の下でお茶会を満喫。

認知症の人が地域の中でいきいきと主体的に活動できるよう、オレンジサポーターのパワーは今まで以上に必要とされています。



メンバーみんなで企画したお花見は大成功



認知症の人やその家族を 地域ぐるみで見守り、支える ～ちーむオレンジサポーターの仕組みづくり～



認知症に関する正しい知識と理解を持ち、認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」が、全国で養成講座を受けてぞくぞくと誕生しています。

そんな「認知症サポーター」の皆さんが、活動をさらに一步前進！
さまざまな人たちと協働し、認知症の人を地域で支えるための仕組みづくりが進んでいます。



地域の新たなつながりをめざして

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を見守る「応援者」です。大阪市では、これまで24万人を超える「認知症サポーター」が誕生し、気になる人がいればさりげなく見守る、困っている様子の人には声掛けや手助けをする…など、身近なシーンで自ら活動を進めてきました。

そんな認知症サポーターがさらに地域で活躍できる仕組みが、「ちーむオレンジサポーター」です。



緑豊かな環境の中、ウォーキングで支援のつながりづくり 南港ウォーキングライン(住之江区)

集合住宅が建ち並び、緑豊かな公園が点在する住之江区の南港ポートタウン地区。『南港ウォーキングライン』では、この地区で週に一度、メンバーと一緒に楽しくおしゃべりしながらウォーキングを楽しんでいます。

集合の時間と場所以外の決め事は一切なし。参加はいつでも自由で、「公園に桜を見に行こう」「海まで行ってみよう」など、みんなのその日の気分でウォーキングのルートが決まります。

集合時の出欠確認やウォーキング中の全体の様子を見るなど、認知症の人もメンバーとして役割を果たしていることも、このチームの魅力です。また、それぞれのメンバーがウォーキングや外出をした際の内容などをラインで共有することにより、メンバー同士のつながりを深めています。

最近では20人も参加者が集まるようになり、週に一度のウォーキングはますます楽しくにぎやかに。また、オレンジサポーターに興味を持ち始めた人も参加するようになり、活動とともに支援の輪も広がろうとしています。



今日のルートを考えながら、散歩前の準備体操

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。




ボランティア
募集などの情報


イベント・講座・
セミナーなどの情報


その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④乳がん触診モデルアドバイザー 養成研修会 参加者募集

一般社団法人 ブレストフォト協会
<https://www.breast-photo.com/>

平日 土日祝
単 緑

1人でも活動でき、乳がん経験者もそうでない方も、専門医の監修テキストを使って、学んで伝える社会貢献にぜひご参加ください!

日 程 HPから希望日程をご連絡ください。申込ページをご案内いたします。
研修時間/乳がん基礎4時間・触診モデル研修4時間・ボランティア研修2時間
※研修は1日で完結できますが、3日間に分けても可能です。

場 所 ブレストフォト協会 関西スタジオ(北区山崎町5-12-404)
JR[天満]駅から徒歩4分

人数・条件 どなたでも 参加費:18,000円(資格取得料含む)

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/090-3627-3789
Eメール info@breast-photo.com

①あさひ育み学び舎事業 (有償) ボランティア募集

大阪市旭区社会福祉協議会
<https://sansan-asahi.or.jp/>

平日 土日祝
緑 単

大学生のみなさん!中学生、高校生の学習や話し相手のボランティアをしてみませんか?サポートいただける方を募集しています。

日 程 毎週月・水曜日 18:30~20:30
毎週土曜日 14:00~17:00
※活動回数等はご遠慮なくご相談ください。

場 所 旭区住宅サービスセンター(旭区高殿6-16-1)
地下鉄[関目高殿]駅5番出口から徒歩7分

人数・条件 大学生以上 定員:5人程度(先着順) 交通費あり
※有償ボランティア(1時間当たり1,050円)

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/06-6957-2200 (担当:仲間)

⑤「同行援護従業者養成研修」参加者募集

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会
<https://osmk.osaka.jp>

土日祝
単 緑

視覚障がい者の自立と社会参加を支援する同行援護従業者(ガイドヘルパー)の資格を取得する講座です。【大阪府指定番号54】

日 程 一般課程:9/16(土)~9/18(月・祝)9:00~18:00
応用課程:9/23(土・祝)、9/24(日)9:00~18:00

場 所 大阪府鍼灸マッサージ会館(阿倍野区昭和町2-10-5)
地下鉄[昭和町]駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 満65歳未満の人(2023/4/1現在) 定員:25人(先着順)
一般課程:20,000円 応用課程:18,000円 両課程:35,000円

申込方法 電話、FAX、郵便、来所 締切:8/18(金)

問合せ▶ 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 大阪府鍼灸マッサージ会館
TEL/06-6624-3332 FAX/06-6624-3337
Eメール siga@otrk.osaka.jp (担当:志賀)

②障がい児プール遊びのお手伝い

認定NPO法人 プール・ボランティア
<https://www.pool-npo.or.jp/>

土日祝
単 緑

25mプールを貸切って、障がい児達と思いきりプールで遊びます。
お手伝い内容[大きな浮き具を膨らます]「プールの全体監視」

日 程 7/29(土)9:00~12:00

場 所 東和薬品RACTABドーム(大阪府門真市三ツ島3-7-16)
地下鉄[門真南]駅

人数・条件 どなたでも(泳げる方がありがたいです)

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP 締切:7/27(木)

問合せ▶ TEL/06-4794-8299 FAX/06-4794-8298
Eメール pv@pool-npo.or.jp (担当:織田)

⑥家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会・ エンゼルサポーター認定研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
<https://www.hitoren-osaka.org>

平日 土日祝
単 緑

ひとり親家庭の方が一時的に保育が必要なときに自宅などの預かり支援や産後間もない家庭での家事支援をしてくださるサポーターを募集しています!

日 程 【家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会】
平日コース 10/6(金)~11/10(金)の毎週金曜日9:15~16:40
土曜コース 10/7(土)~11/11(土)の毎週土曜日9:15~16:40
【エンゼルサポーター認定研修会】

平日コース 11/17(金)9:15~16:40
土曜コース 11/18(土)9:15~16:40

場 所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10)
地下鉄[中津]駅5番出口
阪急電車[中津]駅

人数・条件 各コース30人
研修会最終時点で70歳以下の方。
(ファミリーサポート提供会員の方は免除科目あり)
受講料無料(ただし、保育所実習に伴い一部自己負担があります)
※一時保育あり(愛光会館での講義のみ)
対象年齢:1歳~12歳(小学生)までのお子さん

申込方法 所定の申込用紙にてFAX・郵送・来所 締切:9/14(木)

問合せ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722
Eメール haha@v-aid.org (担当:西田)

③「おとな食堂、こども食堂」のボランティアスタッフを募集!

特定非営利活動法人 希望の居場所
<http://1000c.jp>

平日 土日祝
単 緑 歩

高齢者福祉として毎週おとな食堂をしています。孤食を防ぎ、健康寿命を延ばします。毎月こども食堂を開き、地域交流の場としています。

日 程 おとな食堂:7/4(火)ほか毎週火曜日 10:00~14:00
こども食堂:7/15(土)ほか毎月第3土曜日10:00~14:00

場 所 希望の居場所(都島区都島本通3-26-24)
地下鉄[都島]駅1番出口から東へ徒歩5分
JR[桜ノ宮]駅東出口から東へ徒歩12分

人数・条件 どなたでも 定員:3人(先着順)
交通費(上限1,000円)・食事あり

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所

問合せ▶ 特定非営利活動法人希望の居場所
〒534-0021都島区都島本通3-26-24
TEL/06-7175-4748 FAX/06-7175-1099
Eメール 1000c.eikan@gmail.com (担当:前田)

⑩ 2023年度(第49回)丸紅基金

社会福祉法人 丸紅基金

<https://www.marubeni.or.jp/>

全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成として、約1億円を助成します。

- 応募要件**
- ・1件当たり上限200万円
 - ・申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること。
 - ・法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする
 - ・助成決定から1年以内(2023年12月から2024年11月末)に実施が完了する予定であること
 - ・一般的な経費不足の補填でないこと
 - ・申込案件に、国や地方公共団体の公的補助がないこと、また他の民間機関からの助成と重複しないこと

応募方法 HPから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類と共に事務局あてに郵送(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(金)(当日消印有効)

問合せ▶ 社会福祉法人 丸紅基金 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2
TEL/03-3282-7591/7592 FAX/03-3282-9541 Eメール mkikin@marubeni.com

⑪ 第54回(2023年度)博報賞

公益財団法人 博報堂教育財団

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/>

児童教育現場の活性化と支援を目的とし、「ことば」の力の育成を核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。※詳細はHPを参照

- 応募要件**
- ・日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動であること。
 - ・主に6~15歳が中心の活動。特別支援教育については、4~18歳が活動の中心であること。
 - ・活動開始から3年以上経過していること。
 - ・ただし、コロナ禍における新たな取組みに限り、3年未満の活動も審査対象とする。
 - ・過去に「博報賞」を受賞している場合、受賞時とは異なる活動内容であること
 - ・応募には、推薦資格を有する第三者による推薦が必須です。

郵送・Web ※詳細はHPの「応募ページ」をご確認ください。

応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類と共に事務局あてに郵送(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(金)※財団必着(不備等の修正を含む)

問合せ▶ 公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL/03-6206-6266(平日9:30~17:30) Eメール hakuhoushou@hakuhodo.co.jp

⑫ 令和5年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞 レポート募集

公益財団法人 あしたの日本を創る協会

<http://www.ashita.or.jp/prize/index.htm>

住みよい地域社会の創造をめざし、独自の発想で活動に取り組んでいる地域活動団体の皆様、活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください。

- 応募要件**
- ・地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等
 - ・活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体
 - ※表彰内容など詳細はHPを参照

応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし、応募レポートと写真を添えて、Eメール(郵送、宅配便でも可)でご応募ください。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 7/3(月)

問合せ▶ 公益財団法人 あしたの日本を創る協会
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7 大成堂ビル4階
TEL/03-6240-0778 FAX/03-6240-0779
Eメール prize@ashita.or.jp

⑦ 「こども家庭庁」で、どう変わる?~子育て支援の視点から~

クレオ大阪子育て館

<https://creo-osaka.or.jp/north>

こども家庭庁の設置により、社会にどのような影響があるのか。機能や制度、展望についての解説をもとに、子育て支援の視点から考える。

日程 6/27(火) 13:30~15:00

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡
JR「天満」駅 から北へ徒歩約10分

人数・条件 どなたでも(テーマに関心のある方)
定員:50人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・HP・来所

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋6-4-20 7階
TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:杉浦)

⑧ 第4回 あったか演劇甲子園大会

NPO法人 あったか演劇研究会

<http://www.attakafamily.com>

各チームが社会の課題をテーマにした寸劇を上演します。観客の皆様が審査員です。未来に向けて夢の持てる社会づくりについて一緒に考えてみませんか?

日程 予選会:6/25(日) 本選会:8/6(日)

場所 予選会:伊丹市スワンホール 多目的ホール(伊丹市昆陽池2-1)
本選会:クレオ大阪東ホール(城東区鶴野西2-1-21)

人数・条件 どなたでも 定員:200人
予選会:700円、本選会:1,000円(小学生まで無料)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6394-5137 FAX/06-6394-5111
Eメール mail@attakafamily.com (担当:市原)

⑨ 宇宙のおはなしと望遠鏡講座「天王星、海王星を学ぼう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/>

氷惑星である天王星と海王星を学びます。

日程 8/5(土) 14:00~16:30

場所 大阪市立総合生涯学習センター(北区梅田1-2-500 大阪駅前第2ビル5階)
地下鉄「梅田」「東梅田」「西梅田」駅
JR「大阪」「北新地」駅

人数・条件 高校生以上 定員:25人 参加費:無料

申込方法 HP 締切:8/3(木) 17:00

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール k337yjunam@gmail.com

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!





16 公園・夢プラン大賞 2023

～今年は、都市公園制度制定150周年を記念して内容も充実!～

一般財団法人 公園財団

<https://yumeplan.prj.or.jp>

全国の公園緑地を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集します。

応募要件 ・「実現した夢」部門：過去5年間に公園で実施されたイベントや活動
・「やりたい夢部門」：公園でやってみたいイベントや活動のアイデア
※表彰内容など詳細はHPを参照

応募方法 HPの応募フォームからご応募ください。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 9/29(金)

問合せ▶ 一般財団法人 公園財団 「公園・夢プラン大賞」係
〒112-0014 東京都文京区関口1-47-12 江戸川橋ビル2階
TEL/03-6674-1188 FAX/03-6674-1190
Eメール yumeplan@prj.or.jp (担当：川田・佐々木)



13 2023年度 子ども育成支援事業

読売光と愛の事業団

<https://www.yomiuri-hikari.or.jp/kodomo/kodomojiseki/post-368.html>
子どもの貧困が社会問題と言われる中、日本で暮らす子どもたちがその環境などに左右されずに、健全に育つように支援活動をされている団体に資金助成します。**応募要件** ・1件あたり上限50万円。

・法人格の有無は問わない。
・将来の担い手である子どもの健全な育成に向けて、支援活動を過去3年以上にわたって続けている団体で、その内容が社会のニーズに添えていて、計画に実現性があるもの。
※過去2年間に当事業団から助成を受けた団体は対象外

応募方法 所定の申請書に必要事項を記入の上、添付書類と共に事業団あてに郵送(※詳細はHP参照)

応募締切 7/7(金)

問合せ▶ 読売光と愛の事業団・子ども育成支援係
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社
TEL/03-3217-3473 FAX/03-3217-3474
Eメール hikari-ai@yomiuri.com



17 Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs

パナソニック ホールディングス株式会社

https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npso_summary/2023_recruit.html

SDGsの大きな目標である「貧困の解消」に向けて取り組むNPO/NGOを対象に、「海外助成」「国内助成」の2つのプログラムで、その組織基盤強化の取組みに助成します。

助成対象団体 ●民間非営利組織であること ●団体設立から3年以上であること
●日本国内に事務所があること ●有給常勤スタッフが1名以上であること
※その他、対象となる団体の要件は応募要項をご確認ください。

助成対象事業・金額

- 組織診断からはじめるコース：1団体への上限150万円(1年目)
- 組織基盤強化コース：1団体への上限200万円(各年)

応募方法 上記のURLより応募要項・応募用紙・手引をダウンロードし、応募要項に記載の必要書類一式と合わせて送付 ※詳細は応募要項と手引をご確認ください。

応募期間 7/18(火)～7/31(月)必着

問合せ・送付先▶

[海外助成]

特定非営利法人 国際協力NGOセンター(担当：塚原・村上)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 アバコビル5階
TEL/03-5292-2911 FAX/03-5292-2912
Eメール pnsf-sdgs@janic.org

[国内助成]

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド(担当：駒井・山田)
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階
TEL/03-5623-5055 FAX/03-5623-5057
Eメール support-f@civiltfund.org



14 2023年度 社会福祉事業 住民参加型福祉活動資金助成

公益財団法人 SOMPO福祉財団

<https://www.sompo-wf.org/>

地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動に必要な資金を助成します。

助成対象 ・1団体あたり上限30万円
・西日本地区に所在し、地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう、5人以上で活動する営利を目的としない法人格の無い団体

応募方法 HPの申し込みフォームに必要事項を入力の上送信し、申請を補完する資料などを郵送してください。※詳細はHPを参照

応募締切 7/14(金)17:00

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 SOMPO福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL/03-3349-9570 FAX/03-5322-5257



15 2023年度 特定活動助成(傾聴ボランティア)

公益財団法人 ユニベール財団

<https://www.univers.or.jp>

人々の心のケアがますます求められる中、全国で心のケアのための傾聴ボランティア活動をしている団体に助成いたします。

助成対象 心のケアのための傾聴ボランティア活動(自然災害の被災者をはじめコロナ禍で困難な状況にある人等を傾聴)を行っており、次の二つの条件を満たす団体
・応募に際して、地元社会福祉協議会の推薦を得ること
・団体として既に一年以上の活動実績があること

助成金額 50万円(上限) 最長3年間

応募方法 HPから応募要項・申請用紙をダウンロードし、申請書に必要事項を記入の上郵送 ※詳細はHPをご確認ください

応募締切 7/31(月)※午後5時必着

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 ユニベール財団
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階
TEL/03-3350-9002 FAX/03-3350-9008 Eメール info@univers.or.jp

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室
天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F
TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当：泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例：2023年9月15日発行号(10月号)に掲載希望の場合は2023年7月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリレースタイルでお届けします。

「楽しいを見つける・自分を見つける、ゆるん」

特定非営利活動法人 ゆるん

ちっちゃな事でも「いい事」「良かった」を一緒に見つけてみませんか? 出会いや繋がりを広げていきませんか?

ゆるんサロンでは、おしゃべりカフェ、サロン開放日、マルシェなどを毎月開催。女性の1人1人の「なりたい、やりたい」「一緒にやってみよう」を実現しています。また、女性のライフスタイルに関わる性や生きる事への啓発活動と情報発信も行い、親子イベントやママが楽しめるワークショップも開催。「居場所を提供しているゆるん、暖かく迎えてくれる、スタッフやボランティアさんとお話をするだけでも癒される」と、参加者からボランティアやスタッフになる方もいます。

今年度はライブハウスを使って大人の本気の発表会を開催。活動への参加・応援したいという方、ご興味のある方は、お気軽にHPまでお問い合わせください。

<https://you-run.info/>

〈ゆるんの理念〉

女性の人生は、身体的にも環境も大きく変化していきます。その中で、生き生きと自分らしさを表現出来るように応援します。

いくつになっても、いつの時代も生き生きと自分らしさを見つけてもらいたい、なりたい、やりたい、楽しみたいを、探してみてくださいね。



ゆるんサロンは、いつも和気あいあい



天神祭ごみゼロ大作戦当日ボランティア募集!

天神祭をごみゼロに!



みんなで楽しく世界に誇れる祭をつくりあげよう!

活動内容

■活動内容: エコステーションでの分別回収呼びかけ、リユース食器の回収、ごみの拾い歩きなど

■活動日: 7月24日(月) 宵 宮 15時~24時
7月25日(火) 本 宮 15時~24時

※各日 ①15時~18時 ②17時~20時 ③19時~21時 ④20時~23時 ⑤23時~24時のシフト制となります。複数のシフトにわたっての活動、すべての時間帯での活動(終日)も可能です。

支給品

・スタッフウェア ※報酬・交通費・食事の支給はありません

申込条件

- ・活動日現在、15歳以上の人
- ・14歳以下で保護者とご一緒にご参加いただける人。高校生以下はシフト①、②のみ参加可能です。また、個人・団体によらず、保護者の同意書を提出してください。
- ・活動日に指定の場所、時間で活動が可能であること。活動は長時間にわたり、また立ったままでの活動が主となりますのであらかじめご了承ください。

- ・主催者が配信する説明会の動画を視聴すること。または、対面の説明会に参加すること。※対面の説明会は2回程度実施予定
- ・その他、主催者が定めるボランティア参加の注意事項を遵守し、活動できること。

■締 切: 7月1日(土) 23:59まで先着順

申込区分

- 【団体】◇申込単位は1団体につき6人以上とします。
・ボランティア保険加入の関係により、「天神祭ごみゼロ_団体申込書2023」よりメンバー全員の名簿の提出をお願いします。
提出先: entry@tenjin-gomizero.jp
・活動中は1組5~6人のチームに分かれていただきますので、6人につき1人の代表者を選出していただきます。
・企業や団体など50人以上でのご参加の場合は、別途個別説明会の開催も対応いたします。事務局までお問い合わせください。
- 【個人】◇申し込み単位は個人とします。

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会事務局

<http://www.tenjin-gomizero.jp/>

〒532-0013 淀川区木川西1-4-20 (NPO法人大阪府民環境会議内) FAX: 06-7632-4481

※申込みフォームからの申込みが難しい場合のみ、郵送、FAXでの受付可

申し込みはこちら



学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.32

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

見つけたやりがい

私にとって『ろーたす』でのボランティア活動は、新しい自分のやりがいを見つけるきっかけになりました。

私は現在大学で、中高の教員免



「ろーたす」と地域の皆さんでお餅つき大会

許取得のために教育について学んでいます。その中で、自分が今、教育について学んでいるからこそ、学校以外で頑張っていることもたちとも関わってみたいという思いがありました。

実際に、活動する中で私がすることと言えば、勉強を教える…ことではなく基本的に、こどもたちとおしゃべりをしたり、遊んだり、ゲームをすることです。でも、これが一番こどもたちと仲を深められることなのだと思われました。

ある日は、推しのアイドルの魅力を教えてもらったり、全力で1時間鬼ごっこをしたり、私が全く知ら



武庫川女子大学
文学部日本語日本文学科

大江 未来

プロフィール

所属団体: NPO法人不登校・病児自立支援事業「ろーたす」
趣味: 食べること、ギターを弾くこと
学年: 4年

ないゲームをこどもたちから教えてもらって一緒にしたり。

なんてことない普通のことですが、一緒に楽しんだり、時間を共有することで、自然体で接してくれるようになり、こどもたちにとって身近な存在になれていると感じました。

そして、これが私の新しいやりがいとなりました。

私は今、就職活動をしています。が、「身近な存在になれる」ことを就活の軸の一つにしています。私に新しい価値観を見つけてくれた『ろーたす』に感謝の気持ちです。出会えて本当によかったです。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
アなし イ1年未満 ウ1～4年 エ5～9年 オ10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
アある イなし ウまだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO278号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2023(令和5)年7月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

新緑の季節を迎え、情報誌『COMVO』は早くも7月号の発行となりました。

3年以上もの間、悩まされ続けた新型コロナウイルスの影響も小さくなり、ようやく、コロナ禍前の生活を取り戻しつつある今日。今回取材に伺った『いのちの⑩あべの』さん、『大阪ラフター笑会』さんもまた、活動の中で新しい一歩を踏み出そうとされている姿が印象的でした。さらに今年の天神祭では、『天神橋ごみゼロ大作戦』が復活!『COMVO』でもボランティア募集情報を掲載しています。

引き続き『情報マーケット』では、ボランティア募集や、イベント・セミナーの情報を募集中!!

満を持して活動を再スタートされた皆さん、新たなイベントにチャレンジされる皆さんもぜひご応募くださいね!

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

赤枠が
本文1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
		幅	高さ
表4 1ページ	234,000円	240	170
表4 1/2ページ	127,500円	117	170
本文 1ページ	156,000円	257	182
本文 1/2ページ	85,000円	117	170
本文 1/5ページ	38,000円	48	162

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

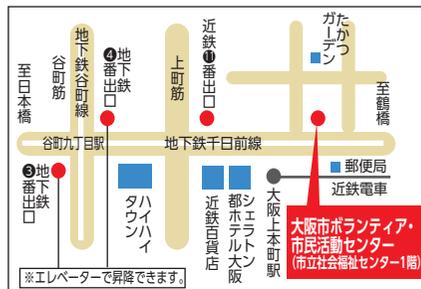
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2023年6月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシア バリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体的5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668